

認知症に関する活動計画（概要）

滋賀県作業療法士会では、昨年度に引き続き、認知症の人と家族の会との連携を中心に活動していきます。また、認知症の人と家族の会との連携を通じて、認知症にかかわる作業療法士の顔の見える関係づくりと、様々な領域で認知症に関わる作業療法士が課題、情報を共有して認知症支援に関わることができることを目標にします。

世界アルツハイマー・デーでのイベントの企画

士会単独のイベントはありません。認知症の人と家族の会主催の世界アルツハイマーデー記念講演会、メモリーウォークの啓発イベントでは、可能な範囲で協力していきます。

認知症の人と家族の会との連携事業

○若年性認知症交流会「LEAP」を共催で開催。毎月1回のオンライン交流会、LINEチャットを利用した集い。

2023年度は参集でのつどいを開催。

「みんなでつながろう！～音楽と活動でつながる会～」

12/17（日）10：00～16：00 草津市立市民総合交流センター

参加者：56名（本人6名、家族9名、家族OB6名、専門職19名、サポーター10名、学生2名、進行役4名）

内容：若年認知症の人だけでなく、県内各地で集う家族も、年齢に関係なく、どなたでも参加OKの開催。話すことが苦手な人も音楽や物づくりなど活動することで場を共有できる交流会。認知症の人と家族の会本部の本人交流会（オンライン）で全国の仲間ともつながる。

協力：大正琴、ものづくりワークショップ・ケアマフ講座、ヴァイオリン演奏、ピアカウンセリング（奈良県 平井正明氏）、滋賀県医療福祉推進課 認知症施策推進係の方

※認知症の人と家族の会本部 本人交流会の助成金を活用

○その他：認知症カフェ、家族支援教室 講師 世話人会の出席



認知症に関わる作業療法士の交流

認知症に関わるOTがつながることで、作業療法士同士の顔の見える関係づくり、地域だけでなくまだまだ課題の大きい施設や病院の作業療法士も含め、様々な領域で認知症に関わる作業療法士が課題、情報を共有して認知症支援に関わることができることを目標にします。

また、認知症の人と家族の会との連携協力士会員を増やし、士会員自身の地域実践の場につなげていきたいと考えています。